

DH

先日、理事会があり、来春から導入されるDH制についての説明がありました。このルールは把握しておかないとマズいぞ・・・私（一応）学校隣球場の主任、大会を運営する者として、試合時の混乱は絶対に避けなければならないからです。

始めにこんな説明がありました。

DHというのは試合途中から使用することはありません。皆さんどう思いますか？おっ、これは分かりやすい・・・そう思いませんか？試合前のメンバー交換時、使用しないと言われればその試合終了まで使われないのですから・・・また、DHが解除になる（試合途中使えなくなる）のは以下の時、

- 1 投手が他の守備についた場合
- 2 代打者または代走者が試合に出て、そのまま投手となった場合
- 3 投手が指名打者の代打者または代走者になった場合
- 4 指名打者が守備についた場合
- 5 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になった場合

この辺までは何となく理解できます。

その日の説明会がややこしくなったのはここから・・・いわゆる「(メジャー) 大谷選手ルール」、これです。大谷選手のように投手としても打者としても出場する場合、今までのように、1番ピッチャー大谷として出場すれば（その試合DHは使わない）問題ありませんが、それだと降板したあと打席に立てないため、同一人物でありながら、1番DH大谷、投手も大谷という形をとれるのが「大谷ルール」、この辺から現状、私の解釈が曖昧になります。DH大谷に代打を出した時？投手大谷を変えた時？、投手大谷が野手になった時？出場している野手が大谷に代わって投手になった時？・・・

大谷ルールは使用できない・・・としていただいた方がルールのスタートとしては良いのかも知れませんが、そうでなければ勉強するしかありません。理解できるよう頑張りたいと思います。

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 7 . 1 2 . 1 5

発行ナンバー 1 2 3 6 号

(鈴木主将の代・・・38号)

人として・・・

小・中学校時、同じチームで共に野球をした仲間がプロへ進みました。今日書きたいのは彼のプレーが凄かったという話ではありません。その指導者の方の話になります。

この選手がプロに指名され、契約という状況になった時、その高校の監督はこのようにプロ関係者に話したそうです。「これから選手として活動する期間、贅沢できるような給料はいただかなくて結構です。ただ、この選手は私が高校3年間しっかり人として育ててきましたので、現役引退後も球団で面倒を見ていただきたいです・・・」

この指導者の方は今でもご健在ですが、年齢等を考えると、この発言をされたのが今の私（51歳）ぐらいの年齢なのです。凄いなと思いませんか？ご自身の指導に対する自信、教え子に対する信頼、また、これから始まる華やかな世界（プロ野球選手）のことよりも現役引退後の心配をされているところ・・・今、そのような事態（教え子がプロに入る）があった時、私、このような発言は多分出来ないと思います。

彼は結局、1軍でも活躍しましたが、プロには10年間在籍して引退（多分28歳の時）、大事なのはここ、51歳になった今でも球団のマネージャーとして勤務しています。

今、「人として大丈夫か？」そう思わせるプロ野球選手を見かけませんか？高校年代の子達を「人として育てる」重要性についてつくづく感じています。高校野球というのは、教育活動の中、行われているのですからなおさらです。

見習いたいと思います。